

全世界空手道選手権大会

2019年11月22日～24日 武蔵野の森スポーツプラザにて4年に一度行われるこの大会に城北支部から過去最高のとなる7名もの選手が選出されました。

これは過去最高で、日本各支部においても類を見ない選出数となります。

当支部関係者の皆さまにおかれましては、これまでにないご声援をお願い申し上げます。

◎今大会注目選手

THE STAR FIGHTERS PROFILE



高橋佑汰

心技体とも最高の状態で挑む二度目の世界エースとして空手人生の集大成を魅せる

注目されながらも出場すら叶わなかった10回大会から8年。高橋佑汰は大きく成長した。2017年に支部で初の無差別全日本王者に輝き、昨年、自身の大泉道場をリニューアルした「空手家として強さだけではなく私たちと同じ志を持っている子供たちや応援に来てくださる皆さまにとって夢・勇気・活力など希望を届けられるよう全力を尽くします」と語る。日本のエースとして覚悟をもって今大会に挑む。



180cm 93kg

26歳 弐段

第49回全日本大会 優勝



山川竜馬

実力が発揮できれば優勝も充分射程内満を持したバトルシップが対世界へ出発

20歳で挑んだ初の世界大会で世界の壁を痛感した山川。この4年間で自身の課題であった勝負強さを鍛えてきた。全日本のタイトルこそないが、日本トップクラスの実力者。ここの一番で殻を破り、実力が発揮できれば表彰台への航路は導かれるはずだ。



186cm 100kg

24歳 弐段

2019 オールアメリカン 6位



西村界人

京都の怒れる大仏が世界デビュー怒涛の明王ラッシュで世界に挑む

小さい頃からの夢の舞台だった世界大会。城北支部に移籍後、ラグビーで養われた突進力に加え技術、体力面でも確実にレベルアップした。「緊張するのではなく最高に楽しんで世界チャンピオンになります」と持ち前の明るさも彼の持ち味である。



188cm 110kg

24歳 初段

2019 オールアメリカン 3位



清水祐貴

階級を上げ無差別での対応力を身につけた
策士が巧みな技で世界取りへ

「無差別で勝つために中量級に挑戦する」そう語り今年のウェイト制で見事準優勝。今大会の出場権を得た。昨年の全日本では巧みな戦略で。アンドレイ・ルジンと互角以上の戦いを見せ、大きな可能性を見せた。社会人として挑む世界大会で、どういった策を見せられるのか楽しみである。



172cm 72kg

24歳 初段

2019 ウェイト制中量級 準優勝



高橋扶汰

高橋家のダイナマイト世界初挑戦
期待のルーキーがトーナメントをかき乱す

世界選抜戦の東日本大会で3位入賞。19歳にして日本代表入りを果たしたのが高橋家の最終兵器、高橋扶汰だ。兄譲りの胴廻し回転蹴りや膝蹴りなどで一本勝ちを量産。決して大きな体ではないが大きな爆発力が持ち味だ。10代で挑む大舞台で会場を大爆発できるか、注目である。



173cm 90kg

19歳 初段

最終選抜戦 3位



小林健人

狙った相手は逃がさない城北のクールスナイパー
照準は表彰台へ

外国人選手が猛威を振るった今年の全日本ウェイト制で日本人最高位の3位入賞。世界選抜戦では軽量級ながらベスト8に食い込み、体格の大きい選手の対応力も身についた。蝶のように舞い、鉢のように刺す。小兵ながら一撃で効かせる攻撃力を持つ小林が初の世界に挑む。



173cm 72kg

24歳 初段

2019 ウェイト制軽量級 3位



樋口知春

攻防一体の“突貫ファイト”が本領発揮
夢の舞台で雄々しく翔ける

2018年全日本中量級王者が世界初挑戦。資格試験の為、一時的なブランクはあったものの復帰戦の世界選抜戦ではベスト8と存在感を示した。ド付き合いに加え相手の一瞬のスキを突く足払いも得意なドクレーバーな一面も樋口の持ち味である。子どものころからの夢だった大舞台で大暴れする。



170cm 78kg

21歳 初段

2018 ウェイト制中量級 優勝

チケットの申し込みは各道場にて受け付けております。 第一次締切り9.25(水) 第二次締切り10.26(土)
会場での応援よろしくお願い致します！